

# 集え、本好き 紹介コーナー 始めました

図書館戦争  
以前、映画にハマっているのを見て  
ニコがあり、原作を読んでみたいと  
思ったので、今回読んでみました。  
途中、少し難しいところもありまし  
た。そのような部分はナナメ読み  
しても十分面白く読めました。  
次の巻もぜひ読んでみたい  
と思います。



銀河鉄道の夜  
本を読むだけでは、最初の理科の授業で、投げ出して  
しまっただけのストーリーの展開で、音読動画を視聴しながら、  
読むストーリーをよみました。キャラクターが少年が少年を  
助けるために、自ら川へ飛び込んで、カニを捕まえてくれた、て  
しまうので。  
親友のジバンニは、カニの尻尾の身を食べて、……  
銀河鉄道に乗って一緒に飲みたいというお話をした。  
特にタイニク号に乗っていたお話を話して、涙がきました。

図書館戦争  
有川浩著 メディアワークス  
公序良俗を乱す表現を取り締まる「メディア化委員会」とそれに  
対抗する「図書館」の攻防を描いた物語。「図書館」と  
「戦争」という一見ミスマッチな組み合わせから繰り  
出される極上のエンターテインメント。テンポよく読めました。  
難しい部分は読み飛ばしてのやり読みもOK!!

銀河鉄道の夜  
宮澤賢治作  
銀河鉄道は、死者を乗せて、北十字星から  
南十字星まで走る、幻想四次元を走る列車です。  
この列車に、親友とどこまでも乗っていけるキップは、  
「あらゆる人の一番の幸せを授けよう」という印刷の  
文字。利己主義egoismとは反対の利他  
的精神です。このキップを身に入れて、ジバ  
ニは 親友カニと旅をします。  
世界で最も美しい物語を  
どうぞ！

図書館に本の紹介コーナーを作りました。  
お気に入りの本にポップを付けて紹介をしてみま  
せんか。  
また、紹介されている本を読んで感想を書くこと  
もできます。

面倒だから、しょう  
「どんな不幸も吸って吐く息は  
感謝でありますように！」  
この言葉が とても印象的であ  
りました。つまづいたり、うまくいかなかった  
読み返してみたいと思いました。

夏と花火と私の死体  
とある本に読んでみたいという本を読みました。ミステリと  
SFの要素が詰まっています。独特な視点の  
で「死体」の視点で描かれた物語が、読者と同じ  
ところを何度も読み返すことが、最後の伏線回収(読  
者視点)が「夏と花火」と驚かされた。いろいろから  
読んで面白かったです。

カラフル(森絵都)  
死後の世界からはじまるという  
奇想天外なストーリーだが、文体が  
ユーモラスで読みやすい。  
善人とも悪人とも言い切れない  
キャラクターが多く登場するが、  
天使のくせにスーツを着て毒舌な  
「ぶらぶら」が一番面白いキャラク  
ターだと思う。

興味を持った人は図書館へGO!

本、返してね  
借りたままになって忘れていた本がありませんか？  
督促状を出される前に返却しましょう。

面倒だから、しょう  
新学期だからこそ  
読んでほしい!

「夏と花火と私の死体」  
主人公がわりと最初に殺され  
てしまうのですが、そこで終わりがなくて、  
犯人がその死体をかくそうとする様子が  
死体視点で書かれています。  
とても面白かったです。  
ぜひ、読んでみてください。 柳原浩央

一度死んだ魂が、「前世の過ち  
を償う」ために下界に「小林真」  
という中学生の少年の体を借りて過す  
というお話です。自分を変えたいと思っ  
ているのに踏み出せない人におすすめの作品  
です。Amazonで最近映画化された  
話は夏休みの作品なのでぜひ読んで下さい。  
「カラフル」 森 絵都